



事故を起こしてしまつたら… 事故の被害に遭つてしまつたら…

Q&A

交通事故の疑問 教えてQ&A

まさか自分に限つて…と思つていても、いつ起きるか分からない交通事故。突然の交通事故では、何をどうしたら良いか分からないという方も多いのでは？ ケガの治療から、保険、車両の修理など…交通事故の疑問にお答えします！



第20回

事故を起こさない！巻き込まれない！ためには安全確認です。
交通事故被害者救済機構からのアドバイス！

最終回の今回は、なかなか根絶されな
い交通事故の原因で最も多いものを紹介
したいと思います。

まず第5位は、アクセルとブレーキを
踏み間違えてお店に突っ込んでしまつた
り、ハンドル操作を間違えて電柱などに
衝突してしまう『運転操作不適』です。

次に第4位は、ぼんやりしていたとか
考え事をしていたという『漫然運転』で
す。クルマの運転に慣れてしまつてい
るせいか、意識が運転以外に向いてしま
いがちになります。クルマは走る凶器”
とも言われます。最悪の場合は、相手
を死に至らしめることもあります。

第3位は、「相手のクルマが停まつて
くれるだろうから、自分が先に行く」と、
「対向車が来ているけど、あの距離なら
ギリギリ右折しても大丈夫だろう」と
いった行動や判断で起こる事故『静岡不
注視』です。自分本位な判断をしないこ
とが事故を防ぐきつかけとなります。

そして、第2位は『脇見運転』です。
スマートフォンを操作しながら運転をす
るといった驚きの光景を最近見かけまし
た。ついつい建物や景色に意識がいつて
しまう場合や、カーナビの操作に夢中
になるのもとても危険ですね。

では、今月のテーマである交通事故の
原因で最も多い第1位は『安全不確認』
です。なんと事故原因の3割を占めてい
ます。一時停止線で止まらなかった、左

折や右折時に対向車や後方の確認を怠つ
たなど、運転中に意識しなければならな
い安全確認は沢山あります。

昨年2015年の全国の交通事故死亡
者数(事故後24時間以内)が4,117人
だったと警察庁から発表がありました。
2000年以降減少していた死者数は、
2014年より4人増え、15年ぶりに増
加しました。近年は特に65歳以上の高
齢者の交通事故死者数が2,247人と
全体の54.6%を占めており、非常に多
なっています。そのうち歩行中の事故が
46.7%と一番多く、次に自動車乗車中
の事故が28.6%、その次に自転車乗車中
の事故が17.2%となっています。

交通事故にはどんな代償が待っている
か分かりません。クルマを運転する際は
交通ルールを守ることは当たり前のこと
ですが、特に安全確認を怠らないよう心
掛けましょう。

今回の先生は…



一般社団法人
交通事故被害者救済機構
理事一同

今回を持ちましていったん連載
を終了とさせていただきます。
今までお読みになつていただき
ありがとうございます。交通事
故は不幸な出来事です。少し
でも被害者救済のお手伝いを、
と言う思いで活動をしており
ます。今後ともお気軽にご相談
ください。